コラム：博物館の昔のどうぐ『徳利・酢瓶』

読みもの・コラム

投稿者：:

Posted on : 2021-7-1 15:00:00

（4）徳利・酢瓶

一升徳利・二升徳利・酢瓶など、数多く寄贈されています。昔は量り売りだったので、瓶をもって買いに行くものでした。徳利と言えば、ネクタイをまいた酔っぱらいのおじさんが、千鳥足になって歩いている漫画を一番に思い出してしまいます。（後に考えると、記憶違いでしたが・・・）そんな事を思いながら、登録作業を進めました。味のある徳利ばかりで、現代でも使えるような品物です。

左から 収蔵資料番号「生活117」「生活118」「生活120」「生活121」「生活138」

徳利・酢瓶は**「収蔵展示コーナー」**（２階）などに展示されています。

※この記事はクマゲラ通信７月号に掲載しました。